

第2回 横浜小学校改築等検討委員会

10月31日(月)ふれあいセンターにて第2回横浜小学校改築等検討委員会が開催されました。

8月に行われた第1回の会議で要望のあった児童数推移の資料などが提示され、出席した委員からは様々な意見が出されました。

- 主な意見
- ・とにかく早く新しい校舎を建てて欲しい。
- ・他小学校との統合も含めて検討が必要ではないか。
- ・統合と並行してとなると時間がかかるのではないか。まず改築を行って、後から統合を考えるべきではないか。



管内小学校児童数及び入学予定者数(見込み)

単位:人

学年 (年齢)	平成29年5月1日推計の学年分布							平成23年5月1日現在の学年分布						
	1年 (0歳)	2年 (1歳)	3年 (2歳)	4年 (3歳)	5年 (4歳)	6年 (5歳)	学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学級数
	H22.4.2生 ~ H23.4.1生	H21.4.2生 ~ H22.4.1生	H20.4.2生 ~ H21.4.1生	H19.4.2生 ~ H20.4.1生	H18.4.2生 ~ H19.4.1生	H17.4.2生 ~ H18.4.1生		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
学校名														
横浜小	22	11	18	11	17	9	6	15	16	30	22	28	22	6
南部小	3	3	3	7	7	6	3	7	4	6	7	11	8	5
有畑小	6	8	6	4	3	7	4	5	3	7	7	11	7	4
大豆田小	5	1	3	3	5	8	3	1	8	2	13	4	6	4
学年計	36	23	30	25	32	30	16	28	31	45	49	54	43	19
全校計	推計在籍児童数176人(教職員29人)							現在籍児童数250人(教職員39人)						
備考	※1学年当たり平均児童数7.3人 ※↔複式学級8学級(2校は完全複式)							※1学年当たり平均児童数10.4人 ※↔複式学級5学級						

※学級数には、特別支援学級を含まない。教職員数は各学校に特別支援学級1学級あったものとして算定。

◆学級編成基準

○単式学級

- 1学年 35人
- 2学年以上 40人

○複式学級

- 第1学年の児童を含む場合 8人
- 第1学年の児童を含まない場合 16人

◆教職員配置基準

- 校長 1校に1人
- 教員(教頭・教諭) 学級数が5以下 学級数+1人
- ・学級数が6~14 学級数+2人
- 養護教諭 4学級以上の学校に1人

○養護教諭

- ・3学級以下の学校については、児童数、施設、設備、学校保健活動の推進状況を勘案し、努めてへき地に重点をおいて配置

※公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律

横浜町防災訓練を実施

11月6日(日)、役場庁舎内、庁舎前駐車場において、陸奥湾を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、横浜町では震度6強を観測、陸奥湾沿岸に大津波警報が発令された事を想定した防災訓練が行われました。

これには、役場、北部上北広域事務組合横浜消防署、横浜町消防団、横浜町婦人防火クラブ、横浜町赤十字奉仕団、横浜町建設安全協議会、野辺地警察署横浜警察官駐在所、横浜町社会福祉協議会、東日本電信電話株式会社青森支店、大町町内会が参加して行われました。

まず、役場庁舎内で役場職員、消防署、消防団による初動訓練を行った後、庁舎前駐車場で町民参加型訓練として大町町内会にご協力頂き、消防団が大町町内を広報し、住民を避難所に見立てた役場車庫まで避難誘導し、また逃げ遅れた要救護者を車イスで救助する広報・避難誘導訓練のほか、避難所設置訓練、避難所運営訓練、電気通信設備普

及訓練、防災教育講話、炊き出し訓練、救助・救出訓練、消火訓練、初期消火訓練などを行いました。

最後には炊き出し訓練で作ったおにぎりと豚汁を参加者全員で食べました。



上北郡中学校 バスケットボール大会

11月5日(土)～6日(日)

【男子】準優勝

	51-50	対百石中
準決勝	82-35	対木ノ下中
決勝	63-83	対上北中

メンバー	4番	杉山 雄太(2年)
	5番	田中 凌平(2年)
	6番	畑中 佑太(1年)
	7番	鈴木 琉佳(1年)
	8番	高橋 悠生(1年)
	9番	船橋 征也(1年)
	10番	三津谷 海(2年)
	11番	小関 敬太(1年)



【お詫びと訂正】

※10月号に掲載した上北地方中学校体育大会新人大会結果に間違いがありましたので、訂正してお詫びします。

○卓球女子個人

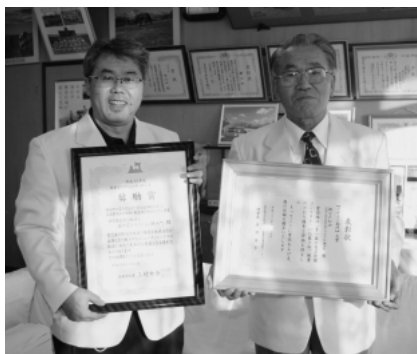
誤：第4位 畠山紗矢香
正：第3位 畠山紗矢香

○男子個人

誤：第5位 畠田侑次
正：第5位 田浦侑次



また、主力商品である御なたね油(475g)が、独立行政法人青森産業技術センターが主催する青い森の良品発掘コンテストのデザイン部門で大賞を受賞しました。



菜の花トラストin横浜町 ダブル受賞

菜の花トラストin横浜町が、青森県が主催するあおもりコミュニティビジネス表彰で奨励賞を受賞しました。これは、同法人が行っている菜の花を守り育て、高品質商品の開発・製造・販売活動が、地域活性化を推進し、先進的で他の模範となる優れたものであると評価されたものです。

手踊り保存会が準優勝

11月13日(日)六ヶ所村で開催された「第5回ろっかしよ村ふるさと民謡手踊り名人決定戦」組踊り部門で、横浜町南部手踊り保存会・菜の花組が「南部よされ節」で準優勝を獲得しました。

岡田八重子さん以下6名の息の合った舞いに会場から多くの拍手喝さいを浴びました。



交通指導車として 日産リーフを導入

役場ではこの度、交通指導車として日産の電気自動車リーフを導入しました。また、電気自動車の急速充電器が、菜の花プラザ駐車場に年度内にオープンする予定です。



大豆田小学校で 租税教室を実施

役場税務町民課では、11月8日(火)大豆田小学校で、6年生を対象に、租税教室を実施しました。

これは、わが国の次代を担う児童・生徒等に対し、税金の意義や役割、使い道に関心を持ち、社会や国のあり方を知ってもらうことを目的として毎年実施しています。

当日は、税金についてのビデオ観賞や1億円(レプリカ)の重さ当てクイズ(10kgが正解)等を行いました。児童からは、「消費税以外の税金の種類を知ることができてよかった」などの感想がありました。